



南部町立南部中学校 学校だより 第21号

チーム南部中

令和3年1月26日(火)

校長 望月和彦

3学期の授業の様子

学校の教育活動の中には、部活動や輝城祭や修学旅行などの学校行事もありますが、最も大切な時間は授業です。本校では校内研究会という組織をつくり、テーマを決めてより良い授業づくりに取り組んでいます。今年度の研究テーマは「気づき、考え、表現し合える生徒の育成」～“主体的・対話的で深い学び”の実現を目指して～です。指導主事などの指導助言者を招聘し、他校の参観者を招いての研究授業を実施するばかりでなく、すべての教員が自分の授業を他の教員に見てもらい、意見やアドバイスをもらうことを通して授業改善を行う「一人一実践」を行っています。最近、参観した一人一実践の授業を3つ紹介します。

1月19日には3年B組で、樋口信也教諭の社会科の授業実践がありました。「私たちの生活と財政」という単元での最初の授業でした。財政＝政府が行う経済活動は、何の目的で、どのような方法で行われているのかを学ぶ授業でした。一年間に国はどれくらいのお金を集めて、どんな目的でそのお金は使われているのか。税金の種類にはどんなものがあり、どんな方法で集められているかを学習していました。直接税や間接税、累進課税制度の仕組みを理解させた上で、「国民の収入に対して税をかけるとしたら、どんな方法が公正といえるのか。」を全員に考えさせ、発表させていました。「お金持ちにはたくさん納めてもらい、貧しい人からはあまりとらないことが公正だと思う」という意見が出されると、一方で「お金持ちは一生懸命働いてたくさんのお金を得ているんだから、すべての国民に同じ金額を納めさせる方法が公正だと思う」という意見も出され、全員が真剣に考えていました。あと3年も経てば有権者となる国民の一人として、政治についてさらに学んでいって欲しいと思いました。



1月20日には2年A組で、雨宮文教諭の社会科の授業実践がありました。地理的分野の関東地方の単元で、本時の学習課題「東京に人口が集まるのはなぜだろう？」について考えさせる授業でした。一人ひとりが考えた理由を付箋紙に書き込み、それを班ごとに大きな紙にグルーピングしていました。「働く場所や大学などが多いから」「高収入が得られるから」「買い物ができる店や交通手段が発展しているから」など様々な考えが付箋に書かれ、「就職や進学」「生活の便利さ」「経済や文化の中心地」「最先端」などにグルーピング



していました。全体で意見交換をする中では、雨宮教諭からは「そう考えた根拠となる資料やデータは？」との質問が出され、社会的な事象を根拠を明確にして科学的に考えることが大切にされていました。自分の考えを発表するとともに、友だちの考えを聞くことにより、東京への人口集中の理由を多面的・多角的に考える学習となっていました。



同日、3の2（少人数クラス）では久保田美穂教諭の国語の授業実践がありました。教材「作られた『物語』を超えて」という論説文の単元最後の授業でした。この論説文は、ゴリラに対する誤っ

たイメージを一部の人間が広めたために、ゴリラが絶滅の危機に瀕したという事実から、人間社会への警鐘を鳴らしている論説文です。生徒たちは、久保田教諭が用意した学習シートを使いながら、結論の部分の文章を細かく分けながら読解し、最終的に筆者が伝えたい内容を考えました。「自分勝手な独りよがりな解釈を避け、常識を疑うこと」「相手の立場に置き換えて、考えてみる視点が重要であるということ」とまとめていました。そして、この単元の感想が発表され「人間の見る目はいかに誤解に満ちているかということがわかった」「自分勝手な解釈をせずに、相手の立場に立って、作られた『物語』を超えて、真実を知ろうとすることが大切だ」など、現代社会でも大切にしなければならないことを学んでいました。世界で起きている民族紛争やコロナ禍の中でこそ、大切にしなければならない考え方だと感じました。



1年生のふるさとカルタ大会&焼き芋大会



南部町では「ふるさと学習」に力を入れています。南部町教育委員会が中心になり町の自然や文化、歴史、産業などを題材にした「南部ふるさとカルタ」を制作し、昨年度末には町内の小中学校や各家庭に配布してくれました。1年生では町の地域学習を行っていることもあり、1月12日にカルタ大会を実施しました。コロナ対策として、広い体育館に4人ずつのグループをつくり、マスクを着用して対戦を行いました。



ふるさと南部町の歴史や文化を学習しながら、楽しいゲームができました。

また、今年度、休校期間に生徒玄関前の植え込みを青木先生が開墾し、用務員の高山さんや内田教頭先生がサツマイモの苗を植えてくれました。夏を越して大きく成長し、11月には見事なサツマイモがたくさん収穫できました。1月13日、1年生が学年レク大会と併せて焼き芋大会を行いました。寒い日でしたが、校庭で仲間と遊んだあとの温かく甘い焼き芋の味は格別だったようです。



ジュニアバレーで男バシ準優勝 女子は決勝トーナメント進出

1月9日・10日・17日に山梨県バレーボール協会主催のジュニアバレーボール大会が行われました。本校からも男女のバレー部が出場しました。男女とも予選グループ戦を2勝0敗で勝ち上がり、決勝トーナメントに進みました。女子は、山梨北中に0-2で敗れてしまいましたが、男子は、櫛形中、押原中に勝利して、決勝まで駒を進めました。決勝戦は、新人戦決勝で対戦した田富中でした。1セットをとったものの、その後の2セットを連取され、惜しくも準優勝となりました。2年生に加えて1年生も出場しての準優勝です。春・夏の大会では頂点を目指して欲しいです。この大会で佐野昇熙さんは敢闘賞を受賞しました。



教育祭書き初め大会の結果

県特選

1年生：田中景晨さん 樋口あいさん
 2年生：石川侑音さん 一瀬友希さん 遠藤由稀さん 望月玲さん
 3年生：小林月妃さん 志村結香さん

地区入選

1年生：12人 2年生：10人 3年生：16人（多数のため氏名は省略）